

モノレール工事認定者講習に関するよくある質問について

質 問	回 答
① 認定者資格は何故必要なのですか？	多摩都市モノレールでの工事は、他の鉄道工事と同様に線路閉鎖やき電停止などの作業を伴います。こうした特殊性から、作業を実施するには、工事の安全確保に関する一定の知識を有している資格者が現場に常駐する必要があります。
② どのような工事に認定者資格が必要なのですか？	<p>【資格を必要とする主な工事】 支柱補修工事・軌道桁及び駅舎塗装工事・駅舎防水工事・照明工事など</p> <p>工事認定者の資格は、線路に近い場所での工事（線路閉鎖作業）や列車運行に重大な影響を及ぼす可能性がある工事（転てつ器・可動式安全柵・列車無線等）を責任施工する場合に必要な資格です。</p> <p>※駅舎内コンコースなどモノレールの線路から離れた場所での工事は資格不要です。しかしながら、線路に近い場所での工事も多いため、できる限り工事認定者の資格を取得して頂きたいと考えています。詳細は、お問い合わせ頂きますようお願いいたします。 ☎ 042-526-7821 担当：遊佐・林</p>
③ 資格の有効期間は？	有効期間は1年間です。更新する場合は、1年毎に講習会を受講していただく必要があります。
④ 1社あたり何名まで応募してよいのでしょうか？	特に制限はありません。但し、座席数に限りがありますので、現場代理人、主任（監理）技術者及び、作業指揮者になる可能性のある方のみのお申し込みをお願いいたします。ご協力をお願いいたします。
⑤ 講習会を受講すれば必ず資格を取得できるのでしょうか？	講習会を受講していただき、その後に行われる「運転考査」（筆記試験）に合格し、「クレペリン検査」「医療適性診断書」の基準を満たす必要があります。後日、合否結果の連絡および合格者には登録証を送付いたします。
⑥ 講習会の開催は年に1度でしょうか？	原則として、1年に1回の開催としています。
⑦ 認定者資格の種類が1種類になってますが、1級と2級は無くなったのでしょうか？	2023年度より認定者資格は1種類のみとなっております。従来の1級、2級は廃止となり、2023年3月31日をもって資格は失効しております。
⑧ 2022年度にクレペリン検査を受けたのですが、有効でしょうか？	大変申し訳ありませんが、2023年度に工事認定者講習を取得していない場合は新規の扱いとなり、再度のクレペリン検査を受けていただく必要がございます。2023年3月31日をもって資格は失効しておりますのでご注意ください。
⑨ クレペリン検査を多摩モノ以外で合格している為、クレペリン検査が免除になりますか？	大変申し訳ありませんが、当社の合格基準がございますので、多摩モノ以外のクレペリン検査の結果を利用することは出来ません。
⑩ 作業責任者に認定者資格が必要ですが、作業責任者とはどのようなものなのでしょうか？	作業責任者とは、「当該作業における列車運行に関する責任を負い、列車運行支障を防止するために作業を管理する者」です。
⑪ 今回から医療適性診断書の聴力の基準が厳しくなっていますが、なぜでしょうか？	工事現場において、警報音（高音）を聴き取れる必要がありますので、1000Hz（低音）だけでなく4000Hz（高音）の音域の聴取も、認定基準として追加しました。
⑫ 更新講習会の座学のリモート開催とはどのように実施するのでしょうか？	事前に資料（データ）、動画（データ）を送付させていただき、受講者個人で自習していただきます。
⑬ 検査やテストを不合格となった場合の再試験は何回でも受けることができますか？	申し訳ありませんが、クレペリン検査、講習会テストの再試験は1回までとさせていただきます。
⑭ 受講費は銀行振り込みとなっておりますが、領収書は発行頂けますでしょうか？	振込明細書を領収書の代わりとして使用頂きたく存じますが、ご要望頂いた場合は発行いたします。受講確認票提出時の電子メールに、「領収書希望」の旨ご記入ください。
⑮ 近くに駐車場はありますか？	当日は多数の方の参加が予想されるため、当社駐車場の利用はご遠慮いただいております。公共交通機関でお越しになるか、お車の場合は多摩都市モノレール高松駅前にコインパーキングがありますのでお早めにご利用いただくことをお勧めします。
⑯ 当日は雨天決行でしょうか？	原則として雨天でも講習会は開催いたします。
⑰ 作業服に着替えるための更衣室はありますか？	更衣室等はございませんので、作業服または動きやすい服装でご来場されることをお勧めいたします。